

LED建築部材照明

保管用

(一般屋内用)

品番 **NDNN52500 (NDNNH52500)**
NDNN54500 (NDNNH54500)

※上記()内は加工品番です。
(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に進行。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造及び構成部品の交換をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井面・壁面・据置取付専用です。床面への取付はできません。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、 $5\sim 35^{\circ}\text{C}$ で使用する。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 当社、起動方式DK対応コントローラと必ず組合せて使用してください。
指定外の使用は火災・短寿命の原因となります。
- 器具の取付・取外しは、手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

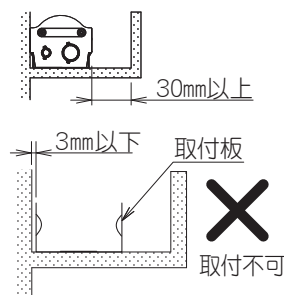
・接続できる器具の台数や配線長、その他取扱いは当社、起動方式DK対応コントローラの承認図や取扱説明書にしたがってください。

■結線について

- ・調光信号線はFCPEV相当 $\phi 0.9$ または $\phi 1.2 \times 1$ ペアです。
- ・コントローラの結線はコントローラの説明書をご確認ください。

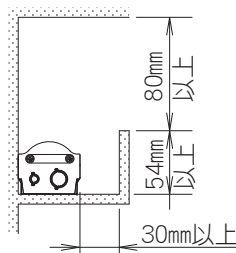
■取付位置

- ・右図のように灯具取外しのため、30mm以上のスペースを確保してください。
- ・取付板を施工する場合、壁面より3mm以上のスペースを確保してください。
灯具のバネが取付板に掛からず、落下のおそれがあります。

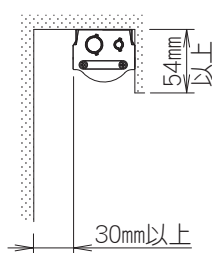


■設置可能寸法

コーブ照明



コーニス照明

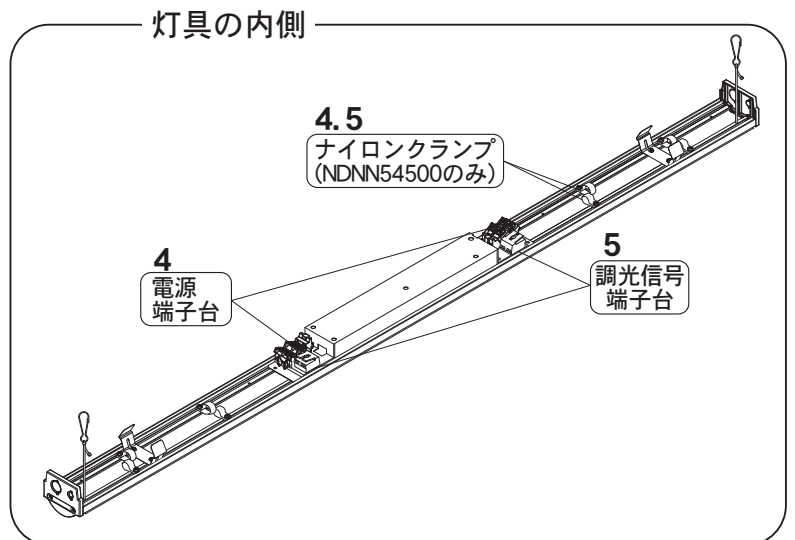
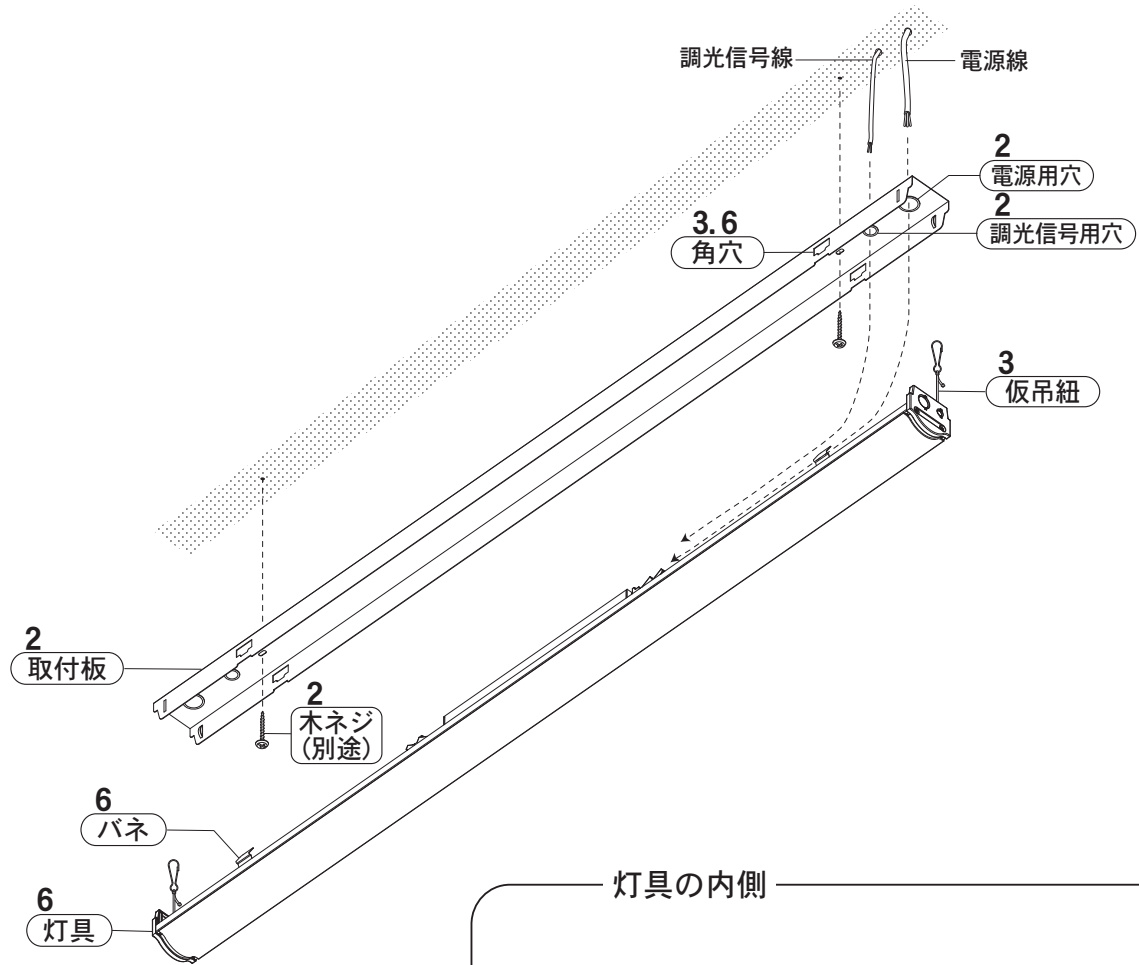


(注意)

設置可能な最小の建築寸法を示しています。
光の効果を十分に得るためには、照射面の仕上げ、カットオフライン・壁面・照射面との距離に注意し施工ください。

各部のなまえと取付方法

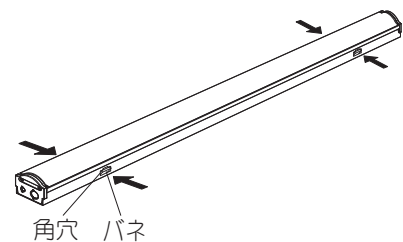
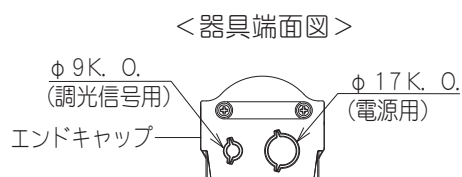
- 器具を下図の状態にしてから、施工してください。NDNN54500 (L 1200) の例で説明しています。取付ピッチについては、5ページの「器具背面図」を参照ください。



取付前の準備

1. K.O.を取外す
器具端面側より入線する場合は、予め入線側のエンドキャップのK.O.を外してください。連結の場合は、反対側のK.O.も外してください。

2. 灯具を取付板より外す
灯具の角穴から出ているバネ（4箇所）を指で押さえながら、灯具を取付板から取外す。



各部のなまえと取付方法

1. 取付前の確認

- 器具質量 (NDNN52500 : 1.7 kg、NDNN54500 : 3.1 kg) に十分に耐えるよう、木ネジ取付部(ネジ掛かり代)の強度を確保する。
(木ネジ(別途)は、丸木ネジの呼び3.8以上を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

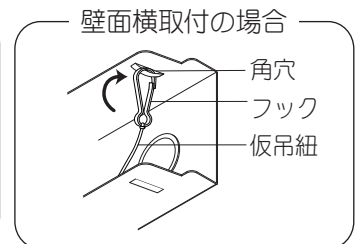
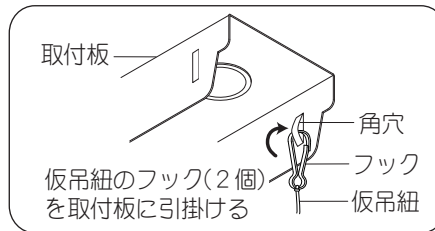
単体の場合

2. 取付板の取付

- 電源線、アース線は電源用穴より、調光信号線は信号用穴より引き込む。
- 木ネジ(別途)で取付板を確実に取付ける。
不備があると落下の原因となります。

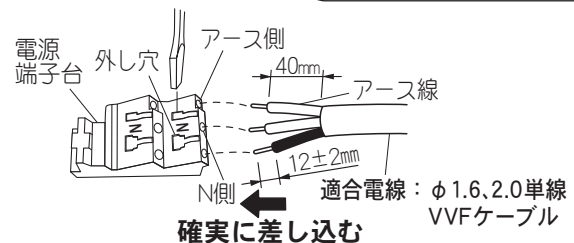
3. 灯具の仮吊り

- 灯具の仮吊紐(2本)を取付板に取付ける。
取付が不完全な場合、落下の原因となります。
角穴は片側2箇所がありますが、どちらでも使用できます。
- 壁面横取付の場合は、上部の角穴に仮吊紐を引っ掛けてください。



4. 電源線・アース線の接続

- 電源線、アース線を確実に差し込む。
NDNN54500 (L 1200) のみ、電源線、アース線をナイロンクランプに通してから端子台に確実に差し込む。
注) ナイロンクランプに通さないと、線カミを起こし落下・感電・火災の原因となります。
- D種(第3種)接地工事が必要。
- 端子台の容量は、10Aです。



電源線の外し方
マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く

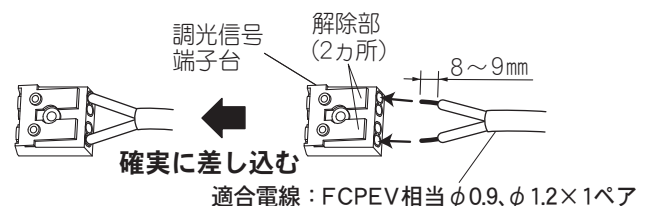
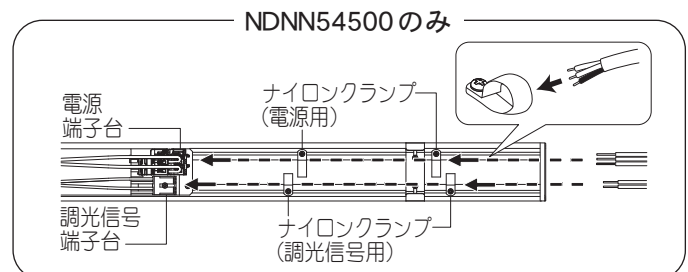
注) 電源線接続後、余分な電源線は電源穴へ押し込んで処理すること。



接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

5. 調光信号線の接続

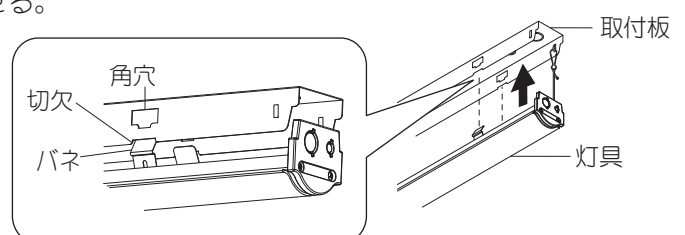
- 調光信号線を確実に差し込む。
NDNN54500 (L 1200) のみ、調光信号線をナイロンクランプに通してから端子台に確実に差し込む。
注) ナイロンクランプに通さないと、線カミを起こし落下・感電・火災の原因となります。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合正常に調光出来なくなります。
- 当社、起動方式DK対応コントローラと必ず組合せてご使用ください。



調光信号線の外し方
解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

6. 灯具の取付

- 灯具のバネ(4箇所)と取付板の切欠(4箇所)の位置を合わせる。
- 灯具を取付板側に押し当て、バネを角穴に押し込む。
取付時、リード線の線噛みに注意してください。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。



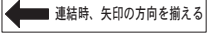
各部のなまえと取付方法(続き)

連結の場合

2. 取付板の取付

- ・ 1台目は、3ページ「単体の場合」手順2参照。
- ・ 1台目 → 中用連結器具 → 終端連結器具の順に施工する。器具を突き当てて施工する場合は連結部の隙間は10mm以下で取付けてください。
不備があると連結部の光色が均一でなくなります。

3. 灯具の仮吊り

- ・ 3ページ「単体の場合」手順3参照。
- ・ 灯具のラベル()の方向を揃えて取付ける。
不備があると連結部の光色が均一でなくなります。



4. 電源線・アース線の接続

- ・ 1台目は、3ページ「単体の場合」手順4参照。
- ・ 連結の場合、エンド面より器具内送り配線が可能です。突き当てて施工する場合は、推奨長さのIV線(別途)を使用してください。突き当てずに施工する場合は、適切な長さのVVFケーブルを使用してください。

不備があると施工ができなくなります。

NDNN54500 (L 1200) のみ、電源線、アース線をナイロンクランプに通してから端子台に確実に差し込む。

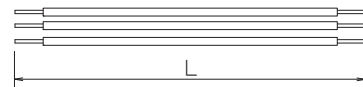
注) ナイロンクランプに通さないと、線カミを起こし落下・感電・火災の原因となります。

- ・ 送り総容量は、1回路あたり10Aです。

注) 送り線接続後、余分な電源線は、取付板内へ収める。

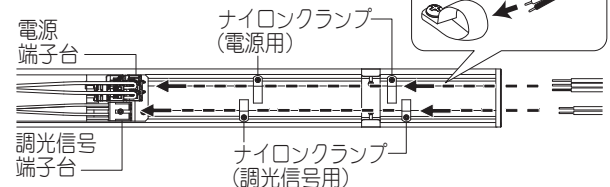
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

電源線 (突き当て施工時の推奨寸法)



連結仕様	電源線長さ
NDNN54500 と NDNN54500の連結	L 860 ± 5
NDNN54500 と NDNN52500の連結	L 560 ± 5
NDNN52500 と NDNN52500の連結	L 270 ± 5

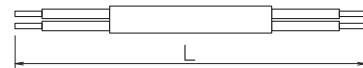
NDNN54500のみ



5. 調光信号線の接続

- ・ 1台目は、3ページ「単体の場合」手順5参照。
- 注) 連結の場合、制御可能台数は起動方式DK対応コントローラの取扱説明書をご確認ください。
- ・ 突き当てて施工する場合は、推奨長さの調光信号線(別途)を使用してください。突き当てずに施工する場合は適切な長さを設定してください。

調光信号線 (突き当て施工時の推奨寸法)



連結仕様	調光信号線長さ
NDNN54500 と NDNN54500の連結	L 880 ± 5
NDNN54500 と NDNN52500の連結	L 580 ± 5
NDNN52500 と NDNN52500の連結	L 290 ± 5

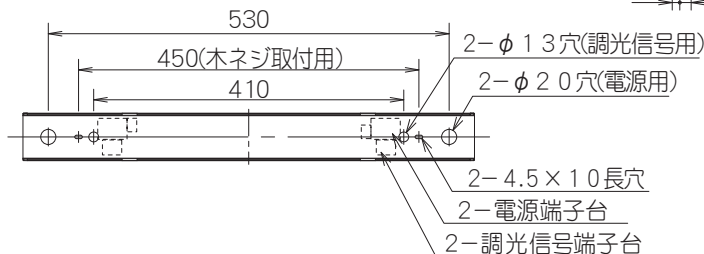
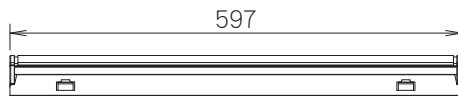
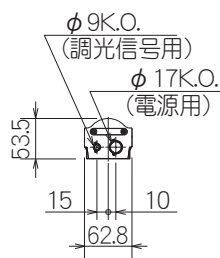
6. 灯具の取付

- ・ 3ページ「単体の場合」手順6参照。

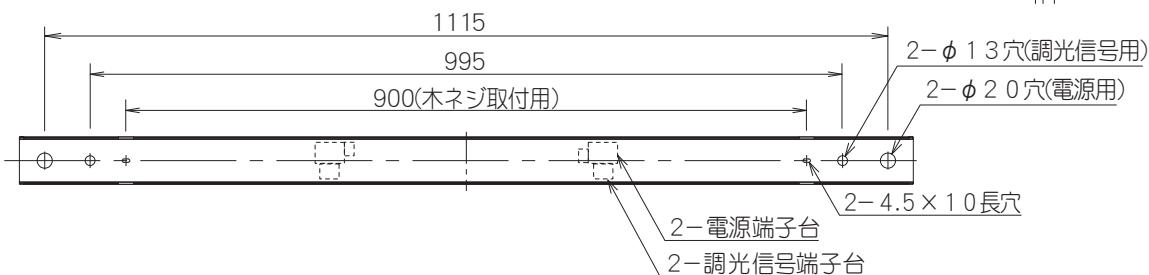
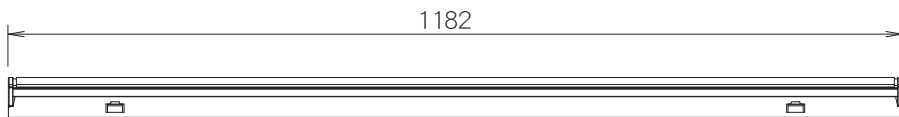
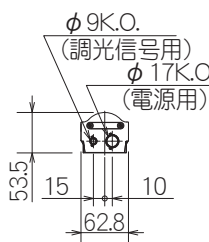
器具背面図

・電源端子台と調光信号端子台は、各々2箇所あります。どちらも入力側/送り側として接続できます。

NDNN52500 (L 6 0 0)



NDNN54500 (L 1 2 0 0)



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

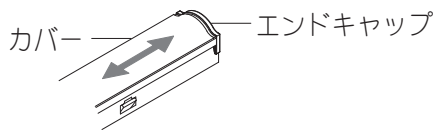
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- LEDにはバラツキがあるため、LED個々及び同一商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- 光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- 下記のような状態がありますが、異常ではありません。
 - ・同一器具、またはシリーズ器具で点灯及び消灯時のフェードのしかたに違いの出る場合があります。
 - ・電源電圧変動などの影響により、瞬間的に明るくなったり暗くなったりすることがあります。
- LEDの構造上、発光面片側の端部は電球色に見えます。
- 適合コントロールの仕様により、本器具仕様の調光・調色範囲以外でも設定の操作が出来ますが器具が指定する動作範囲内でご使用ください。
- カバーは、熱・湿気による伸縮に対応するため、前後にスライドする構造となっています。



保証について

- 保証について……… この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について……… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間……… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- 器具の清掃について… 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- 感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。

■ 定格

<NDNN52500>

起動方式	定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
DK9	入力電流	0.15A	0.08A	0.07A
	消費電力	14W	14W	14W

<NDNN54500>

起動方式	定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
DK9	入力電流	0.26A	0.14A	0.12A
	消費電力	27.1W	27.1W	27.1W

■ 商品仕様

品番	光色	調光範囲
NDNN52500	電球色(約2700K)	各色 約5~100%
NDNN54500	昼白色(約5000K)	

※適合コントロールの仕様により、本器具仕様の調光・調色範囲以外でも設定の操作が出来ますが、器具が指定する動作範囲内でご使用ください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月~土/9:00~18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open: 9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)